

# 反映状況票

(単位:百万円)

省庁名	調査事業名	調査主体	取りまとめ財務局	元年度予算額	2年度予算案	増▲減額	反映額
農林水産省	(27) 浜の活力再生・成長促進交付金等	共同	(関東財務局)	5,365	2,004	▲3,361	▲149
事案の概要	<p>人口減少と少子高齢化による活力低下が懸念される中、漁業地域の活性化のため、平成25年度から浜ごとの特性を活かした創意工夫のもと、漁業者自らが漁業収入の向上やコスト削減による所得向上を目指す行動計画である「浜の活力再生プラン（浜プラン）」の策定に取り組んでいる。</p> <p>浜プランの着実な推進を支援するため、浜の活力再生・成長促進交付金により、プランに位置付けられた共同利用施設の整備、密漁防止対策、浜と企業の連携推進、水産業のスマート化の推進等の取組を支援している。</p>						

## 調査結果の概要及び今後の改善点・検討の方向性

### 1. 浜プラン達成状況について

- ・浜プランの目標が未達成となることが見込まれる浜に対して、第2期浜プランへの移行に際し、改善策の策定や要因分析のノウハウの提供など、指導を徹底すべき。
- ・浜プランの目標である所得向上が外的要因に起因するところが多いことを踏まえ、本事業による効果を適切に検証できる仕組み（新たな指標の導入等）を検討すべき。

### 2. 交付金の効果検証について

- ・メニューの活用状況に偏りが見られたことから、浜のニーズ等を再調査してメニュー内容を見直すべき。
- ・交付金で整備した施設の稼働状況や費用対効果等を毎年定量的にフォローアップ出来る仕組みを構築すべき。
- ・交付金に頼らず所得向上効果のあった取組の横展開を進めるほか、特に「減速航走・減速曳網」のような資源管理の観点からも重要な取組は、広く普及させるべき。

### 3. 交付金の効率的な執行について

- ・水産庁において、交付申請段階で事業計画の精緻化を徹底するように各都道府県に対して指導を行うとともに、ソフト事業については恒常的にまとまった不用額が生じている状況を踏まえ、浜のニーズを再度検証し、予算額の縮減に努めるべき。

## 反映の内容等

### 1. 浜プラン達成状況について

- ・水産庁において、浜プランブロック会議などの機会を捉え、改善策の策定や要因分析のノウハウの提供など、指導を徹底した。
- ・水産庁において、第2期浜プランの策定時には、所得目標に加えて、各浜の取組に応じた外的要因による不確実さを極力排除した所得目標以外の成果目標を設定することとしている。

### 2. 交付金の効果検証について

- ・各メニューの活用状況等を踏まえ、メニューの廃止や統合など、内容の見直しを行う。
- ・水産庁から各都道府県に対し、成果目標の目標年度の翌年度に実施する事後評価に加え、令和元年度から評価年度に達していない施設についても、毎年度その達成状況などを報告するよう指導した。
- ・水産庁において、浜プランブロック会議などの機会を捉え、資源管理の観点からも重要な取組は、広く普及させるべく周知した。

### 3. 交付金の効率的な執行について

- ・水産庁において、翌年度要望地区の事前ヒアリングを実施するなど、事業計画の精緻化を徹底するよう指導した。
- また、ソフト事業については、浜の活力再生プラン推進等支援事業のうち浜の活力再生プラン推進事業の廃止など、予算額の縮減を行った。

(反映額:▲149百万円)